



光中ブラスバンド部を先頭に渡り初め

あけぼの橋開通

三月十四日に『あけぼの橋』（母子と桑郷を結ぶ横断橋）の開通式が行われました。このあけぼの橋は、農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業として昭和六十年に着工、橋りょう部事業費一億六千八百万円がかけられ完成したものです。

「この橋が農業、商業、工業などの産業活動に、また、地域の活性化に大きく貢献してくれるものと確信しています。今後は、関連道路の整備にも力を入れ町の動脈になるようにしたい」とあいさつ、続いてテープカットが行われ、光中ブラスバンド部員を先頭に、親子三世代夫婦五家族、来賓など約二百人が渡り初めをしました。

教育委員会表彰

六人に功労表彰、二人・一団体に感謝状

三月二十日、役場で恒例の光町教育委員会表彰式が行われ、永年教育分野で活躍された大きな功績を残された鵜澤琴子さん（東陽小教諭）ほか、五人が教育功労表彰を、また、教育施設整備充実のためにご寄付された今井徹男さん（小田部）、大木正さん（谷中）、光ライオンズクラブに感謝状が贈られました。

教育功労者

鵜澤琴子さん（東小）・小川廣



教育委員長から表彰状を手渡される鵜澤さん

三月十四日に『あけぼの橋』（母子と桑郷を結ぶ横断橋）の開通式が行われました。このあけぼの橋は、農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業として昭和六十年に着工、橋りょう部事業費一億六千八百万円がかけられ完成したものです。

式典で齊藤町長は、国・県関係、用地提供者や地元関係者にお礼のことは述べた後、

サケの稚魚100万尾放流



2月28日に栗山川で、光町と横芝町の小学校4、5年生360人が、サケの稚魚100万尾を放流しました。子ども達はこれから長い旅に出る小さなサケを「元気に帰って来てね」と見送っていました。

栗山川でサケの放流が初めて行われたのは昭和52年1月、3年後の55年度から少しずつ親魚が帰ってくるようになり、61年度からは、毎年1,000尾を超すサケが捕獲されています。2月22日には、白浜小学校で、県の水産部栽培漁業課の方や、栗山川漁業協同組合長さんによる「サケについて」の勉強会が行われました。

自治宝くじ 助成事業で和太鼓十基購入



購入した太鼓

自治総合センター自治宝くじ助成事業で、「光の音推進委員会」に和太鼓十基が購入されました。この助成事業は、宝くじの普及広報事業の一環として行われ、今回で三年連続となります。購入された太鼓は、ひかり音頭の完成に伴い、小中学校が中心となって光町だけの太鼓の音「光の音」をつくり上げるために使われ、より一層住民間のコミュニケーションの輪づくりに役立てられます。

東陽駐在に柳原さん



柳原巡查部長

三月六日付けで、東陽駐在所に柳原勝三郎さんが着任しました。前任地は市川警察署で、家族は奥さんと今年六歳になるご長男の三人です。